

○新津図書館は今年で90周年になります○

新津図書館だより

“戦後70年特集”

〒956-0863

新潟市秋葉区日宝町6-2
新潟市立新津図書館

電話 0250-22-0097

FAX 0250-21-1046

メール niitsu.cl@city.niigata.lg.jp

第29号 平成27年(2015年)8月号(隔月発行)

発行日 平成27年(2015年)8月27日

目次(もくじ)

★戦後70年の戦争と平和を考える	P1
	P2
	P3
★よみかせスケジュール	P4



『日本のいちばん長い日』決定版
半藤 一利／著 文芸春秋 2006年

日本は昭和20年8月15日正午の玉音放送によりポツダム宣言受諾(=降伏)を国民に告げた。その前日からの24時間が克明に描かれる。既に広島・長崎への原爆投下、ソ連の満州侵攻と続き、もはや敗戦は決定的であり、国民を救うには降伏するしかなかった。しかし、それでも徹底抗戦を主張する軍人らの不穏な動きがあった。緊迫のなか天皇の録音による「戦争終結ニ関スル詔書」の放送が実現した。その日起こった事を知ることは私達にとって重要な事である。(松原)

戦後70年の戦争と平和を考える

～テーマ展示の本を紹介します～

今年は戦後70年の節目になります。
昭和20年の敗戦。そして戦後大きく変わった日本。
あの戦争を振り返り、そして平和について考えてみませんか。

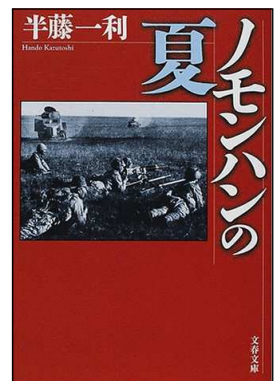


展示コーナーには手に取ってほしい本52冊とブックリストを置いてあります。

『ノモンハンの夏』

半藤 一利／著 文芸春秋 2001年

昭和14年満州国と蒙古との国境線をめぐり、日本軍とソ連軍の間で勃発した「ノモンハン事変」。現場の多数の将兵たちが苦しい戦いに臨み死んでいった。半藤氏は陸軍参謀本部の弱さ、関東軍作戦課の愚かさを怒りと共に浮き上がらせる。ソ連軍のジューコフ将軍が戦後に発した「日本軍の下士官兵は頑強で勇敢であり、また青年将校は狂信的な頑強さで戦うが、高級将校は無能である」という言葉が印象に残る。(高橋)



戦後70年の 戦争と平和を考える



『きけ わだつみのこえ—日本戦没学生の手記—』新版
日本戦没学生記念会／編 岩波書店 1995年

この本には、学徒出陣で戦地に赴き命を落とした若者の手記が収められている。志半ばで入営し、戦争を愚かなことと否定しつつも日本のためにと命を捧げることを選んでいった学生たち。年齢は現在の大学生や卒業したての年頃である。彼らの将来の夢やそれを諦めざるを得ない状況に対する煩悶、そして家族への慈しみのこもった文を読むと、二度とこのような事があってはならないと改めて強く感じる。一度は触れて欲しい1冊である。(松原)

『黒い雨』
井伏 鱒二／著 新潮社 2003年

昭和20年8月6日、広島に原子爆弾が落とされた。閃光と爆音で、街は一瞬にして焼野原となり、多くの命が失われた。生き残った人々も又、大量の放射線を浴びた。この物語は被爆した直後から敗戦日の8月15日までの記録であり、その後の原爆病に蝕まれた人間の艱難辛苦を描いている。この爆弾は他のものとは何かが違う、という市井の人の不安の声が胸に突き刺さる。黒い雨をあびた数年後、髪がごっそり抜けおちる矢須子があまりにも不憫でつらく悲しい。(小越)



『海と毒薬』新装版
遠藤 周作／著 講談社 2011年

戦後、ある田舎町に引っ越してきた「私」は、持病の治療の為、ある病院を訪れる。そこには、無口で陰気だが腕だけは確かな医師がいた。なぜこんな田舎にこんな医師が？と疑問を抱く「私」だが、やがてその医師が戦時中に関わったある事件を知ることとなる。事件に関わった人間の心理状態が、巧みな人物描写を通して描かれる。戦時下における人間の異常な心理状態を通し、戦争の恐ろしさ、戦時中の人間の醜さが伝わってくる一冊である。(丸山)

『それでも日本人は「戦争」を選んだ』
加藤 陽子／著 朝日出版社 2009年

日清戦争から太平洋戦争までの間に、日本がいかにして中国や欧米諸国を相手に外交戦を繰り広げ、戦争を始めるに至ったのか。本書は、東大で日本近現代史を教える著者が、高校生に講義した内容をまとめたものである。戦争の最終目的は“相手国が最重要視している社会の基本秩序（つまり憲法）の変容を迫ること”とあり、あらためて日本国憲法についても考えさせられる内容となっている。(吉原)





『海鳴る 空映える 風わたる街で』
新潟女性史クラブ／編著 新潟女性史クラブ 2014年

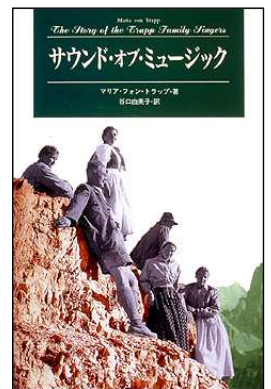
この本では、新潟に暮らす女性達が体験した戦争が語られています。神風が吹くから負けることはない信じ、敵軍の戦闘機が火だるまになって旋回するのを「いい気味だ」と見ていた女生徒達にとって、敗戦の報せは信じられないものでした。一方で、夫を送り出した妻や厳しくなっていく生活状況を感じていた女性達は敗戦を予感していたりと、当時の年齢によって終戦への想いは異なっていた様です。それでも、女性達が揃って「戦争はあってはならない」と語る様子は、それぞれの生活が異常で厳しいものだったことを感じさせられます。(松本)



●子ども向けの本●

『サウンド・オブ・ミュージック』
マリア・フォン・トラップ／著
谷口由美子／訳 文溪堂 1997年

名画「サウンドオブミュージック」の原作本。修道女だったマリアは、家庭教師として7人の子どもがいるトラップ男爵家に行くことになる。その後男爵と結婚し子どもも生まれ、合唱団として活動を始めるが、オーストリアがドイツに併合され戦争の足音が近づき、トラップ一家はアメリカへの亡命を決意する。波乱に満ちたマリアの半生は、戦争の恐ろしさと、それに打ち勝つための「神と共にある」心の強さを感じられる。(高橋)



『ちいちゃんのかげおくり』
あまん きみこ／作
上野 紀子／絵 あかね書房 1982年

体の弱いおとうさんが出征する前の日、家族4人でかげおくりをしました。青空に映し出される白い大きな家族写真に、ちいちゃんは大喜びし、夢中になって遊びます。やがて空襲で空は暗く覆われ、逃げ惑う人々の中で、ちいちゃんは家族を見失ってしまいます。

子どもたちが、無邪気にかげおくりを楽しめる日々が続いてほしい、二度と戦争が起こらないでほしい、と願わずにはいられない絵本です。(小越)

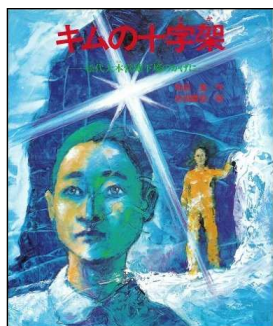
『なぜあらそうの?』
ニコライ・ポポフ／作 BL出版 2000年

うれしそうに一輪の花を手にもつ一匹のカエル。それを見つけたネズミが、その花を横取りしていきます。そこへ、別のネズミたちがやってきて奪い合いが始まります。

この本は、子どもの時に戦争を体験した作者が、争いのおろかさを知り、考えてほしいという思いから描いた文字のない絵本です。

どんなことばがカエルやネズミから聞こえてくるでしょうか?親子で一緒に読んでいただきたい一冊です。(金塚)





『キムの十字架』
和田 登／著 ほるぷ出版 1983年

戦争末期の朝鮮で、考え方は違いながらも互いを思いあいながら生活するキム兄弟。やがてそれぞれが家族から引き離され、長野県松代での大本営地下壕作りの強制労働に連れて行かれます。そしてお互いの消息を知らぬまま終戦を迎え、兄は弟の死を知ります。

地下壕の中で何があったのか？今も残っている朝鮮語で書かれた文字をてがかりに、キム兄弟の物語がひもとかれていきます。(金塚)

『はこちゃんのおひなさま』
丸田 かね子／文
牧野 鈴子／絵 銀の鈴社 2003年

はるこおばあさんは、おひなさまを人形博物館に送る前の日の夜、おひなさまと過ごした戦争の頃を思い出します。学童疎開で東京を離れたはるこのもとに家族がおひなさまと来てくれた日、東京大空襲で仲の良かった子は死に、はるこの家も灰になってしまいました。終戦後も厳しい生活が続き死んでしまったおかあさんを、はるこは柄杓を持った官女に重ねる様になりました。

実際に人形博物館に展示されているおひなさまにまつわる、切ないけれど最後は少しだけ希望が見える物語です。(松本)



よみきかせスケジュール (9月、10月)

イベント	場 所	対 象	曜日・時間	開 催 日
おはなしのじかん	新津図書館	幼児以上	毎週火曜日 15:00	9月……1日、8日、15日、22日、29日 10月……6日、13日、20日、27日
ちいさいこのよみきかせ	新津図書館	乳幼児	毎週火曜日 10:30	9月……1日、8日、15日、29日 10月……6日、13日、20日、27日
ボランティアによるよみきかせ	新津図書館	幼児以上	毎週土曜日 14:00 (第5土曜はナシ)	9月……5日、12日、19日、26日 10月……3日、10日、17日、24日
おはなしのじかん	荻川地区図書室	幼児以上	毎週土曜日 10:30	9月……5日、12日、19日、26日 10月……3日、10日、17日、24日、31日
ボランティアによるよみきかせ	金津地区図書室	幼児以上	毎月第1土曜日 13:30	9月……5日 10月……3日
おはなしのせかいへ	小須戸地区図書室	幼児以上	毎月第3土曜日 10:30	9月……19日 10月……17日

荻川地区図書室……火～木、土、日、祝 開室 荻川コミュニティセンター内 (新津図書館へ 0250-22-0097)

金津地区図書室……火～木、土、日 開室 金津地区コミュニティセンター内 (新津図書館へ 0250-22-0097)

小須戸地区図書室……月～木、土、日 (第2、第4木曜日は休室) 開室 小須戸まちづくりセンター内 (新津図書館へ 0250-22-0097)

